



# 清須市

平成29年5月1日  
発行：愛知県清須市議会  
編集：議会広報特別委員会

第45号

# 議会だより



## 主な内容

- 常任委員会の審査報告 ..... 2
- 議員10名の一般質問 ..... 8
- 議決状況 ..... 13
- 特別委員会の報告 ..... 14
- 市議会Q&A ..... 15
- 市に望むこと ..... 16

4月1日(土)

# 春日五条川

# さくらまつり

付託  
案件

# 常任委員会の審査報告



## 建設文教委員会

3月10日、13日に委員会が開催され、付託議案の審査が行われました。採決の結果は、全議案とも全員賛成により原案のとおり承認されました。以下が、主な質疑等です。

### 平成29年度一般会計 予算案

#### 歳入

**問** 教育費全体の歳出約26億円に対し、国庫補助金等が少ない中で様々な教育ニーズにどのように応えていきますか。

**答** 厳しい財源状況下でも、やるべきことは実施していきます。また、補助事業については、今後も様々な事業

メニューに対して、積極的に取り組んでいきます。

**問** 阿原橋の受託金の内容と工事の時期はいつごろですか。

**答** 受託金は、本市と名古屋市で管理協定を締結しており、名古屋市の受託金です。工事は、湯水期に実施します。

#### 歳出

**問** 船枅橋整備の内容、工期及び費用を伺います。

**答** 堤防の拡幅に伴い、橋長が48mから68mになります。工期は平成31年度までの予定です。総事業費は約9億1千万円で本市の負担は

2分の1です。

**問** アンダーパス冠水対策の自動遮断機と冠水表示板設置の時期、運用方法はどのように考えていますか。

**答** 設置（6箇所）は、出水期までに1箇所でも多く実施できるように準備を進めます。運用

は、冠水を感知し、水位が15cmに達すると作動して、同時に市へ通報が入ります。



西枇杷島中学校前アンダー

**問** 新清洲駅北土地地区画整理事業及び名鉄高架事業の進捗はどのような状況ですか。

**答** 新清洲駅北土地地区画整理事業は計画どおりに進んでいます。また、名鉄高架事業は、仮線確保するために、都市計画道路及び緑地の都市計画決定について、昨年12月に説明会を行いました。平成29年度は、用地測量の説明会を開催する予定です。

**問** いじめ対策には、どのように対応していますか。

**答** 定期的に小中学校でアンケートを実施しています。その結果をもとに、さまざまなことも認知件数として取り上げ、いじめに発展しないよう未然に個別指導の対応をしています。

**問** 生涯学習推進計画を策定するにあたり、新たに組み入れることはありますか。

**答** 特に新たに取り組むものはありませんが、市の生涯学習の全体的な概要や方針を改めて策定するものです。

**問** アレルギー対応食の実施状況とアレルギー反応が出た場合の体制はどのようになっていますか。

**答** 学校給食では、卵と乳の代替食と除去食を実施しています。また、エビペン処方をされている児童生徒は数名いますが、万が一の場合等が対応することができ体制を取っています。

**平成29年度下水道事業特別会計予算案**

**問** 下水の接続率は、どのくらいですか。

**答** 平成28年度当初は、約51%です。

**平成29年度水道事業会計予算案**

**問** 配水管の耐震化計画の対象は、どうなっていますか。

**答** まずは、春日地区の避難所等に指定されている春日中学校をはじめ10か所の施設へ給水する配水管が対象です。

**市道路線の認定**

**平成28年度一般会計補正予算(第4号)案**

**平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)案**

《建設文教委員会所管 主な歳出予算》

項 目	予 算 額
道路改良費	313,801千円
新清洲駅北土地地区画整理費	492,596千円
中学校整備費	91,924千円
学校給食センター費	501,409千円

委員長	八木 勝之
副委員長	天野 武藏
委員	白井 章
委員	岸本 洋美
委員	伊藤 嘉起
委員	高橋 哲生
委員	小崎 豊

# 総務委員会

3月14日に委員会が開催され、付託議案の審査が行われました。採決の結果は、全議案とも全員賛成及び賛成多数により原案のとおり承認されました。

以下が、主な質疑等です。

## 平成29年度一般会計 予算案

### 歳入

**問** 個人市民税、固定資産税、都市計画税の増額について、どの様に見込んでいますか。

**答** 個人市民税の均等割は納税義務者の増加を見込み、所得割は給与所得等の増加を見込みました。固定資産税は、土地分で春日地区の特定市街化区域農地の宅地並み課税等による増加、家屋分で新築家屋の

増加を見込んでいますが、償却資産分は過去3年間の実績比較によりほぼ横ばいと見込みました。都市計画税は、固定資産税と同様の理由から、増額を見込みました。

**問** 前年度と比較して、臨時財政対策債が増加した理由は何ですか。

**答** アンダーパス冠水対策事業を始めとする市単独で行う普通建設事業費の増加に伴う財源対策です。

### 歳出

**問** 職員定員適正化計画は、当初策定時から現在まで順調に進捗していますか。

**答** 電話での納税相談や窓口での相談となります。毎週木曜日の午後8時まで夜間の納税相談を行っています。猶予

**問** 職員定員適正化計画は、当初策定時から現在まで順調に進捗していますか。

**答** 定員適正化計画は、5年ごとに策定しています。近年、国の事務移

管などにより業務量が増加していますので、今後の計画策定にあたって、適正に検討していきます。

**問** 運転免許証の自主返納手続きにおいて、コミュニティバスの乗車券を即日交付していただけますか。

**答** お待ち頂ければ即日交付は可能です。

**問** コミュニティバス利用者の高齢者の比率は、どうなっていますか。

**答** アンケート調査結果などから、65歳以上の方が約65%です。



きよすあしがるバス

**問** 市民サービスセン

ターで、申請書類の收受  
だけでもできませんか。

**答** 書類の不備や本人

確認を含めた手続きな  
ど、様々なことが想定さ  
れます。真摯に検討を重  
ねていきます。

**問** 見守りカメラをよ

り積極的に設置してい  
くべきだと思いますが、  
どのように考えていま  
すか。

**答** 市政推進委員に対

し、より丁寧に補助事業  
の説明を行い、今後も補  
助事業を推進していき  
ます。

**問** 消防団詰所の整備

工事のスケジュールを  
伺います。

**答** 平成28年度は実施

設計を行いました。確認  
申請が下りましたら、新  
年度で速やかに施工業  
者を決定し、早期の工事  
着手完成を目指します。

**問** 五条川、庄内川の重

要水防箇所について、増  
水時の土のう積みなど  
の対応はどうなってい  
ますか。

**答** 増水時の土のう積

みなどの対応は、河川管  
理者ではなく本市が行  
うこととなります。活動  
する消防団を始め、防災  
協会との協力態勢を  
整え対応していきます。

**問** 教育委員会や上下

水道課と連携し、マン  
ホールトイレを設置す  
る考えはありませんか。

**答** 避難所でのトイレ

の確保は重要なことと  
考えます。避難所となる  
施設を管理する教育委  
員会や下水道を整備す  
る上下水道課と連携し、  
マンホールトイレの設  
置について進めていき  
ます。

**問** 法人税割の税率引

下げによる、標準税率課  
税と超過税率課税の影  
響はどうなりますか。ま  
た、軽自動車税の環境性  
能割は、どのような制度  
ですか。

**答** 引き下げによる影

響額は、標準税率の法人  
で約8千771万円、超  
過税率の法人では約1  
億7千215万円と見  
込まれます。また、排出  
ガス性能及び燃費性能  
が優れた軽自動車ほど  
低い税率が適用され、性  
能により非課税から上  
限が2%の税率となり  
ます。

**問** 職員の育児休業等に関

する条例の一部を改正  
する条例案

**答** 平成28年度一般会計補

正予算(第4号)案

平成28年度一般会計補

正予算(第5号)案

《総務委員会所管 主な歳出予算》

項 目	予 算 額
財産管理費	326,282千円
電算管理費	226,816千円
交通安全対策費	79,355千円
西春日井広域事務組合消防負担金	709,563千円

委員長	住田 元紀
副委員長	岡山 克彦
委員	成田 義之
委員	浅井 泰三
委員	加藤 光則
委員	野々部 享
委員	飛永 勝次

# 福祉委員会

3月17日、21日に委員会が開催され、付託議案の審査が行われました。採決の結果は、全議案とも全員賛成により原案のとおり承認されました。以下が、主な質疑等です。

## 平成29年度一般会計 予算案

### 歳入

**問** 生活困窮者の自立相談件数と相談から生活保護を申請した件数は、どのような状況ですか。

**答** 平成29年1月1日現在、52件の相談があり、相談から生活保護を申請した方は14件です。

### 歳出

**問** 子育てコンシェルジュは、どこに何名を配置しますか。また、他機関との連携は、どうされますか。

**答** 子育て支援課に1名配置し、子育て中の方が地域で孤立しないよう、子育て支援センターなどにつなぎ連携を図ります。

**問** 住居確保給付金の支給期間は、どれくらいですか。また、世帯の人数により給付金額は異なりますか。

**答** 支給期間は、原則3か月です。ただし求職の活動状況に応じて最長9か月まで受給できます。また、金額は世帯の人数によって異なり、単身世帯は月額3万7千円以内、最高でも7名以上の世帯で月額5万8千円までです。

**問** こんにちは赤ちゃん訪問費について、里帰り出産も対象となりますか。

**答** 依頼があれば里帰り出産の方も訪問します。

**問** 観光振興は、まちの活力であると考えますが、次年度に向けた取り組みと意欲を伺います。

**答** 大きく2点、一つは訪日外国人誘客の重要性を考慮し、旅行会社と連携し、訪日ツアー造成に積極的に取り組むこと。二つ目は平成29年度から始まるJRや大手旅行会社等が連携し行う、愛知県大型観光キャンペーンを活用し、観光PRを行っていきます。

## 平成29年度国民健康保険特別会計予算案

**問** 平成30年度から国保改革がありますが、広域化になり提示される標準保険料率、医療費抑制対策など、今後保険者の役割分担を含め、どのようにになりますか。

**答** 県と市町村が各々特別会計を持ち、共同で運営します。市町村の事務は、基本的には現在と変わりません。県は必要な医療費を市町村に支出し、市町村は保険料納付金を県に納付します。保険料率については、市町村ごとに標準保険料率が公表されます。

## 平成29年度介護保険特別会計予算案

**問** 次期介護保険事業計画においてのニーズ把握をどのようにしますか。

**答** 65歳以上の一般高齢者、要介護認定者、事業者、ケアマネジャーに調査を実施し、生活実態とニーズを把握していきます。

医療費抑制対策は、データヘルス計画により健診医療等のビッグデータを活用し、保健事業を展開します。

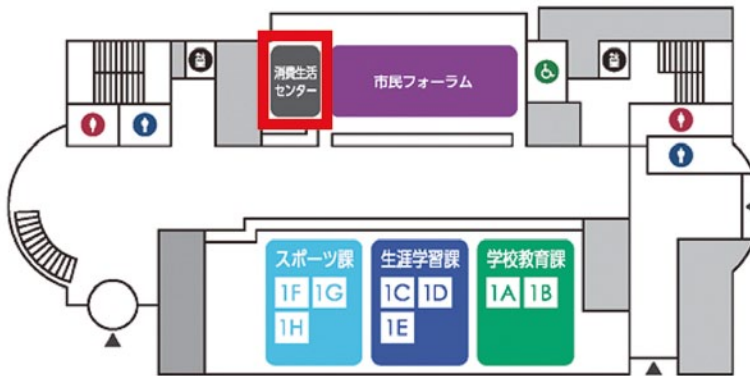
## 消費生活センター

○消費生活相談

日 時：毎週月・火・木・金  
13時30分～16時30分  
受付は16時まで

場 所：市役所南館1階

相談内容：商品やサービスに関する苦情や  
事業者とのトラブル等



消費生活センターの組織及び運営等に関する条例案

**問** 相談体制はどのようになりますか。

**答** 様々な相談に対応するため、消費相談員だけでなく本課の事業でもある司法書士相談や社会福祉協議会の弁護士相談等とも連携しながら進めていきます。

平成28年度一般会計補正予算(第5号)案

**問** 西枇杷島保育園下水道切替工事は、園児や保護者への影響はありませんか。

**答** 土・日で対応できるので影響はないと考えています。

平成29年度後期高齢者医療特別会計予算案

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部を改正する条例案

平成28年度一般会計補正予算(第4号)案

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案

平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)案

### ≪福祉委員会所管 主な歳出予算≫

項目	予算額
福祉医療費	717,887千円
子ども・子育て支援費	146,808千円
児童手当費	1,301,004千円
ごみ収集処理費	952,971千円

委員長	常川 則雄
副委員長	小崎 進一
委員	久野 茂
委員	村瀬 勝哉
委員	林 真子
委員	渡辺 秀人
委員	大塚 祥之

## 子どもの貧困対策

飛永 勝次 議員



**問** 日本の子どもの貧困率は、先進国の中でも高い割合にあり世代を超えた連鎖も社会問題となっています。生活に困窮する世帯に子供がいる場合の住まいや学習支援の状況について伺います。

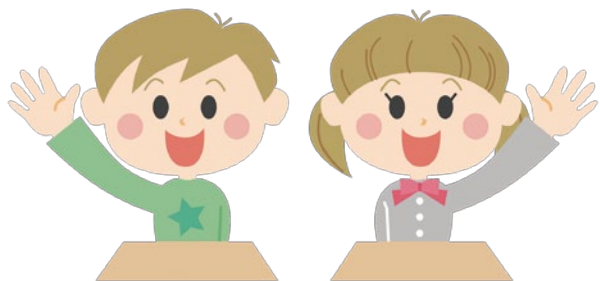
す。また離職により住宅を失った、またはその恐れのある方に対して求職活動を行うなど資格要件を満たした場合に、生活困窮者自立支援法の「住宅確保給付金」を支給して住まいの確保をしています。

鎖するいわゆる「貧困の連鎖」の防止が着実に進められるように、その効果や運営の方法などについて先進地の事例や近隣自治体の動向を踏まえ引き続き研究してまいります。

**答** 子どもの住まいの応援としては、自立相談支援の中で居住の安定を図るため、子供に適した住宅環境の改善などのアドバイスや県営住宅・公的賃貸住宅の紹介を行っていま

子どもの学びの応援では、生活保護受給世帯に対し高校進学について就学費用が生業扶助で賄えるため負担が少なくて済むことを早くから説明し、不安の払拭と進学の意欲の喚起に努めています。

生活困窮者自立支援法の任意事業となります「学習支援事業」につきましては、貧困が親から子へ世代を超えて連



## 高齢ドライバーの交通事故対策

岸本 洋美 議員



**問** 交通事故者に占める65歳以上の割合は年々上昇し2016年は54%で、高齢者人口(26.7%)の2倍以上になっています。昨今のニュース報道でもあるように高速道路の逆走やアクセルとブレーキの踏み間違えなどが年々増加し、大きな社会問題にもなっています。

た、本年3月施行の道路交通法の改正により認知症機能検査がこれまでより厳しくなります。本市としての次の取り組みについて伺います。

故の現実を見据え、促進し、企業のバックアップ(特典)なども調査研究していきます。

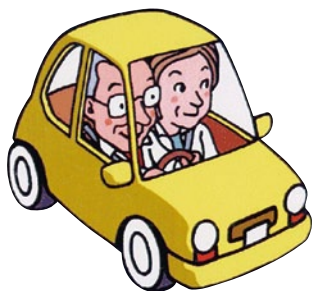
③あしがるバスの増便など検討をしていきます。

その他の質問  
・実質的訓練による減災対策

高齢者本人やご家族の方からの免許返納の相談も深刻です。「病院や買い物のはどうやって行くのか。」ま

**答** ①周知については高齢者向けの「交通安全教室」や出前講座等で警察とともに周知していきます。

②75歳以上の高齢者事





学校・地域での交通安全

村瀬 勝哉 議員



を高めています。

中学校・高校では日常

生活における自転車運

転交通マナーの徹底指

導や交通安全意識が向

上するよう定期的に指

導するとともに終業式

の日にあわせて、自転車

走行等安全指導を周知

徹底しています。

地域での対策につい

ては、マナー違反の取り

締りや指導は、警察にお

いて実施されるもので

すが市においては、交通

安全教室等を通じて啓

発に努めてまいります。

**問** 新聞・テレビ等の報道で、自転車事故が多く内容が自転車ガルールを守っていないことによる事故です。学校及び地域での交通安全について、どのような対応をされていますか。

**答** 小学校では1年生入学式終了後、西枇杷島警察署員による交通安全講話を実施。3年生では警察署・交通安全協会の協力により、自転車走行や実技走行を実施して、児童の交通安全意識



安全安心のまちづくり

八木 勝之 議員



**問** 市長の施政方針にもある第2次総合計画に掲げられている安全安心に暮らせるまちづくりについて、昨今、市内で窃盗、放火などが多発していますが、これまでに行った対応と今後の犯罪抑止に向けての対策をどのように考えていますか。

**答** 警察と連携し、市防犯協会等とともに青色回転灯装備車によるパトロールや市内に48団体ある自主防犯ボランティア団体による防

犯パトロールの実施、見守りカメラ設置費補助金制度の創設など、犯罪抑止活動に取り組んできました。また、昨年市内で不審火が相次いだ際には、消防団による巡回パトロールを行ってきました。

今後は、新たに各種通知書や封筒の余白を利用し「振り込め詐欺防止」などの啓発文の掲載や市広報紙にて定期的な注意喚起を行うとともに、市・警察・防犯協会を始め自主防犯ボランティア団体等が連携して実施してきた啓発活動やパトロールを継続していきます。



コノハけいぶ

## 市街化調整区域の将来

小崎 進一 議員



**問** 地方再生、企業誘致といった観点から、市街化調整区域の在り方についての検討が必要だと思いませんか。

区域に編入する基準としましては、国、県の指導により、上位計画との整合、基盤施設整備の確実性、位置及び規模の妥当性、低・未利用地の状況などの基準を満たす必要があり、厳しい基準となっております。

市街化調整区域は、市街化を抑制する区域であり、自然環境の形成の観点からできる限り農地の維持、保全に努めていただきたいと思います。

その他の質問  
・公共のトイレの洋式化(グラウンド・公園等)

**答** 今年度策定された第2次総合計画に基づき、都市計画マスタープランにおいて、土地利用について考えていきたいと思えます。市街化調整区域を市街化



市街化調整区域(春日落合地区)

## 第2次総合計画(案)の 施策達成度指標

白井 章 議員



**問** 第2次総合計画(案)の達成度指標には、施策に関係する数値と市民満足度調査の満足度比率が用いられています。満足度比率には数値のばらつきや誤差を含みますが、その点の考え方を伺えます。

達成度指標には、平成20年度より定期的に実施している市民満足度調査結果の満足度比率を、また満足度比率が施策以外の要因に左右されるため、各施策の成果を測定できる数値目標もあわせて設定しています。

表記を検討します。また、これらの誤差の取扱いは、数値の推移を把握するとともに、変化にかかる要因を分析し、施策の展開に活かしていきたいと考えています。

**答** 第2次総合計画では、市の目指す目標に対し、各施策がどこまで達成できているかを測る指標として達成度指標を設定しています。

市民満足度調査は、全市民から単純無作為抽出法で行う標本調査で実施していますが、数値には誤差が生じることを承知しています。しかし、一般的に信頼できる水準を満たしており、わかりやすさを考慮して、集計結果を表記しています。今後、この点の説明



第2次総合計画と市民満足度調査



オレンジサポートチーム

大塚 祥之 議員



**問** 本市の認知症患者の推定値は、65歳以上高齢者人口15千534人の内、4千349人となつています。認知症の前段階である、軽度認知障害の高齢者も増え、認知症の早期発見、早期診断が重要になります。平成28年10月から本市では、「オレンジサポートチーム」を編成し認知症の疑いのある人を把握、訪問して、状態に応じて適切な医療や介護サービスにつなげる取り組みを行っています。

す。それを受けて次の点について伺います。  
 ①今後どのような啓発を計画していますか。  
 ②現時点での課題を伺います。

**答** ①今後、民生児童委員を始めとした各種団体や高齢者を支える世代も意識した、チラシの配布などのPRを継続していきます。

②認知症患者の初期の段階で早期に対応するために、相談がしやすい体制づくりや地域に潜在している方の情報を早くキャッチできるように努めます。



オレンジサポートチームの対象となる方

その他の質問

・都市計画マスタープランにおけるJR清洲駅整備

情報の共有と治水対策

加藤 光則 議員



**問** 気候変動により施設能力を上回る洪水の発生頻度が高まり、統計史上初の事象が、今後頻繁に発生することが懸念されます。

本市河川の重要水防箇所(河川の流下能力不足や堤防の断面不足、漏水の履歴など水防活動の必要性が高い箇所)の現況と水防法の改正による浸水想定区域図の「家屋倒壊危険ゾーン」公表と周知について伺います。

**答** 重要水防箇所は、庄内川右岸の枇杷島橋あたりが堤防高及び堤防断面の不足箇所です。五条川では、右岸の西清洲ポンプ場付近と長者橋から名鉄本線下流付近に漏水実績があり、河川管理者により改修を行っています。

「家屋倒壊危険ゾーン」の公表は、国の管理である庄内川については、平成28年12月に庄内川河川事務所ホームページにて掲載しており、県の管理河川である新川・五条川及び福田川については、29年度中の公表を目標に作業がすすめられていますので、公表され次第市のホームページで周知していきたくと考えています。



五条川(名鉄本線下流)改修工事

## 文化遺産のまちづくり

浅井 泰三 議員



ボランティア等の交流施設の活用で、朝日遺跡の壮大さとその価値に地域の誇りを共有できる場を創出します。

**問** 本市の特色ある文化遺産に目を向け、誇りの持てる町づくりが必要ではないですか。

また、体験学習室や県と共同しての清須学や文化財講座も実施し、自然災害対策としての遊水池も設置します。

重要な要素であり、現状では市の文化財の指定はできませんが、貴重な建造物として今後の検討課題と考えます。

**答** ①平成30年度に着工、32年度の秋に開館の予定です。概要は、

新資料館や野外展示ゾーンを整備し、弥生時代の生活体験の場や



清洲貝殻山貝塚資料館基本展示室イメージ

## 次期学習指導要領改訂

高橋 哲生 議員



**問** 文部科学省より幼稚園・小学校・中学校の次期学習指導要領改訂案が発表されました。

5時間授業を6時間にしたり、短時間学習を取り入れたりして各学校の特色を活かしたカリキュラムマネジメントで柔軟に対応していきます。

特に小学校5・6年生では英語が教科化されることに伴い、授業数も年35コマ増加しますが、どんな方法で授業時間を確保していくお考えか伺います。また、2学期制の導入はどうかお考えか伺います。

平成32年度から本格実施ですが、本年度は検討と周知、30年度から31年度で前倒し試行する予定です。

2学期制の導入は、評価する機会が減ることによって子ども達が頑張るチャンスが減らすことになると思います。従って、本市では現行の3学期制を継続していく中で、より良い学校運営を図っていきたいと考えています。

**答** 小学校3年生から6年生までで週1コマの増加となりますが、

**確かな学力**  
基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力

生きる力

**豊かな人間性**  
自らを責めつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性

**健康・体力**  
たくましく生きるための健康や体力

備

• 狭あい道路の拡幅整備  
その他の質問

新学習指導要領の理念

# 3月議会定例会で可決された議案

平成29年度一般会計予算案など17議案を可決

定例会は、2日から23日までの22日間の会期で開き、初日に施政方針・市長提出議案の上程・説明がありました。その他の議案については、9日に質疑が行われ、各所管の常任委員会に付託しました。

最終日には、それぞれの常任委員会の審査結果が委員長から報告があり、採決の結果、全議案が原案どおり可決しました。

## 3月議会定例会議案等議員賛否一覧

○・・・賛成 ×・・・反対

議案	審議結果	清政会										公明党		市清クラブ		清友会		無所属				
		成田義之	久野茂	伊藤嘉起	村瀬勝哉	八木勝之	住田元紀	小崎豊	岡山克彦	野々部享	小崎進一	岸本洋美	林真子	飛永勝次	浅井泰三	白井章	常川則雄	天野無藏	大塚祥之	高橋哲生	加藤光則	渡辺秀人
平成29年度一般会計予算案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
平成29年度国民健康保険特別会計予算案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度介護保険特別会計予算案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度下水道事業特別会計予算案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計予算案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度水道事業会計予算案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費生活センターの組織及び運営等に関する条例案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例等の一部を改正する条例案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部を改正する条例案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度一般会計補正予算(第4号)案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度一般会計補正予算(第5号)案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※成田義之議長は採決に加わりません。  
 ※審議結果の表示は、(可)可決(否)否決です。

### ◎通告された議案質疑

3月9日に2人の議員が質疑を行いました。

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 加藤光則議員 | ○平成29年度一般会計予算案        |
|        | ○平成29年度後期高齢者医療特別会計予算案 |
| 岸本洋美議員 | ○平成29年度一般会計予算案        |
|        | ○平成29年度介護保険特別会計予算案    |

# 特別委員会の報告

## 特定構造物改築 対策特別委員会

(平成29年2月2日開催)

国土交通省庄内川河

川事務所より特定構造物改築事業の名古屋市側庄内川左岸の築堤状況について及び市都市計画課より枇杷島橋の架け替えにあわせて整備される都市計画道路伏見町線(名鉄陸橋)の用地買収の状況等についての説明がありました。

### 主な質疑

**問** 枇杷島橋は、歴史があるのですがデザインについて配慮することは

できませんか。

**答** 橋の架け替えは、名古屋市が事業主体となりますが、地元からの要望などは連絡会議などで伝えていきます。

委員長	伊藤 嘉起
副委員長	常川 則雄
委員	成田 義之
委員	久野 茂
委員	高橋 哲生
委員	林 真子
委員	渡辺 秀人
委員	小崎 進一

## 議会改革推進等 調査特別委員会

(平成29年1月20日、2月7日、3月9日開催)

議会改革の一層の推進に向けて協議、検討しています。

議員定数についてのあり方を会派ごと、会派代表者会議及び特別委員会でも引き続き検討しています。

また、開かれた議会(見える化)の一つとしてインターネット中継などの実施についての近隣自治体等の状況や費用、運用について協議しています。

委員長	岡山 克彦
副委員長	浅井 泰三
委員	天野 武藏
委員	岸本 洋美
委員	高橋 哲生
委員	加藤 光則
委員	住田 元紀
委員	野々部 享

# 斎苑等対策 特別委員会

(平成29年1月19日・3月22日開催)

会議に先立ち、市長より「一場地区、朝日地区及び春日地区の地域の皆様の深いご理解とご協力、並びに対策委員会・協議会役員の方々のご尽力により、斎場整備に係る地区同意書をいただくことができました。この場を借りて感謝申し上げます。これで、都市計画決定に向けた環境が整いました。」とあいさつがあった後、斎場施設整備の進捗状況について説明があり、質疑が行われました。

### 主な質疑

**問** 地区同意をいただいた際に、地域と約束した周辺対策事業を今後進めていく上で地元と話し合う場が必要と思えますが、どのようにしていくのですか。

**答** 斎場建設基本計画案の提出時にご意見等をいただいています。周辺対策事業としてご要望いただいた事業については、十分なスケジュールを組み立て、お約束を履行していきます。

また、斎場整備の進捗に応じてさまざまなお意見がでてきた場合は、適宜、地元と協議をしていく予定です。

委員長	住田 元紀
副委員長	村瀬 勝哉
委員	常川 則雄
委員	林 真子
委員	小崎 豊
委員	岡山 克彦
委員	野々部 享
委員	小崎 進一

## 市議会 Q&A

### Q. 市議会って何をするとところ？

**A.** 議会の議員は市民の直接選挙で選ばれ、議会は自らの代表である議員によって構成されます。

議会では、市民の意思を市政に反映させるため、市民生活に係る幅広い問題をきめ細かく審議し、市民生活の向上に努めています。

市長と議会は対等の立場に立って、市政が適切に運営されているか、広い視点から執行機関を監視し、市の意思を決定する議決機関です。



### Q. 議長と副議長はどのように選ばれるの？なにをするの？

**A.** 議長と副議長は、議員の中から選挙により選出されます。議長は、議場の秩序を保持し、議事の整理をおこない、議会の事務を処理します。また、議会の外部に対する行為は全て議長の名をもっておこなわれるほか、儀礼的な代表権も有します。

副議長は、議長に事故があるときや諸般の事情により職務が取れないときに議長に代わってその職務を行います。

### Q. 議会はいつ開かれているの？

**A.** 定例会は年4回と決められています。3月・6月・9月・12月とされていますが、緊急性を要し採決しなければならない場合には臨時会が開催されます。

### Q. 傍聴はいつでも誰でもできるの？

**A.** 基本的には自由にご入場できます。ただし、議会や委員会を傍聴するにはルールがあります。定められたルールを守って、本庁舎4階議会事務局で住所・氏名・年齢を「傍聴人受付票」に記入し、先着順に入場できます。定員は30名です。カメラや動画の撮影は禁止になっています。

